

分散登校の様子から

21日、ようやく校内に子供達の声が響きました。

朝、児童昇降口で待っておりましたが、どのお子さんも複数、又は保護者の方の見守りで登校しておりました。ご協力ありがとうございました。声をかけたお子さんは、「楽しみだった。」とみんな笑顔で答えてくれました。そして、「家族のために感染に気を付けないと」と、意識が高いお子さんもいて、身の引き締まる思いでした。教室の中も約半数、先生の話聞き、やりとりをしながら過ごしていました。

本日全学級が行った授業は、

- 感染症から身を守るために、学校で気を付けること（紙芝居風、プレゼン、動画等を活用）
 - 心のケア（アンケートを通して）
 - 学校生活でお互いが気持ちよく過ごすためのきまりについて
- です。それぞれの学年に応じた内容の学習を行っております。

そして、何よりも「学校って楽しい」と思えるように、低・中・高で時間帯を分けた中休みには、先生と一緒に久しぶりに運動場に出て遊ぶ姿が見られました。1年生は遊具の使い方を教えてもらっていました。先生の後ろを並んで歩いている1年生・・・当たり前の風景が戻ってきたことに喜びを感じております。



しかし、これから学校の本格的な再開に向けて、学習や生活のリズム等を整えていくには教師も子供達も時間がかかります。どうかご家庭でも

- 生活のリズムを整えること（早寝・早起き・朝ごはん）
- 学校を楽しみに思うこと（良いことがあったら「よかったね」不安に「大丈夫よ」「楽しいことがあるかもね」等、プラス思考の声かけを）
- 感染症対策（検温・マスク・タオル）

の3点にご協力いただきますよう、お願い致します。

これからも学校と連携を密に取りながら6月に向けて準備を進めていきましょう。

明日の分散登校も楽しみに待っております。

校長 大淵 裕三子